

新型コロナウイルス感染症本部会議議事録（第10回）

日時

令和2年4月9日（木）10時30分～11時00分

場所

庁議室

協議案件

新型コロナウイルス感染症の市内発生に伴う臨時休園および登園自粛要請の実施について

出席者

本部長 市長

副本部長 副市長、教育長

本部員 総合政策部長、危機管理監、草津未来研究所・経営戦略担当理事
総務部長、まちづくり協働部長、
環境経済部長、健康福祉部長、
子ども未来部長、
都市計画部長、技監、建設部長、上下水道部長、
議会事務局長、教育委員会教育部長、
教育委員会教育部理事
西消防署長、南消防署長

協議内容

【開会挨拶】

【市長】

今日も、2名の感染者が判明し、近隣市においても次々と感染者が確認されているところ
でありますので、本日、本部会議で、新たな取り組みについて、協議し、決定をしていき
たい。

【市長】

それでは、2の議事に移ります。

2 議事

【報告事項】

【危機管理監】

「本部規程の改正について」

資料の説明。4月7日付の特措法の特措法の緊急事態宣言を受けて、改正をするもの。
幹部会の規定を追加。

【協議事項】

「公立幼稚園・認定こども園、公立保育所の休園について」

【子ども未来部長】

これまで、幼稚園については、保育所と同様に1人で家庭にすることができない年齢の子供が利用することや、保護者の負担を考慮して、保育の受け皿であることを考慮して、休園の対象にはしていなかったが、今般新規の感染者が増加したことから、休園をすることにする。認定こども園や放課後児童クラブについても、保育の規模を縮小して、登園自粛要請をして対応することにした。
資料の説明。

「新型コロナウイルス感染症の市内発生に伴う臨時休園および登園自粛要請の実施について」

4月10日から4月19日まで公立幼稚園、認定こども園（教育認定）を臨時休園とし、公立保育所・児童育成クラブについて家庭保育の協力要請を行うこととしたい。

【市長】

質疑や意見はあるか。

【他】

なし。

【市長】

説明内容で決定としたい。

【環境経済部長】

近隣市の状況は？

【市長】

近隣市も同様に、休園の動きが出始めている。

【市長】

4月19日まで、草津市内の小中学校、幼稚園を休校・休園していくことになったが、県立高校や大津市などは5月6日まで休校と決定している。
来週の半ばに、更に情報を収集して、対策本部会議を実施し、さらなる延長について検討する必要がある。
さらに延長された場合は、子どもたちへのケアもより必要であるので、その想定で、準備を進め、本部会議に臨むように。

また、感染者が増加してきているので、私のメッセージを今日新たに出す予定である。

「不要不急の外出を自粛」

「7都道府県への往来を厳に慎む」

「イベント・会食への出席の自粛、3密を徹底的に回避」

「こまめな手洗い、咳エチケット、適度な運動」

【健康福祉部長】

3月27日の文書で、危機管理監からイベントの延長についての通知があったが、「会議、審議会」の取り扱いについて、その後通知が出ていない。

【市長】

以前の本部会議で延長できるものは延長すると決定した。どうしても仕事などで実施しなければならないものは、3密を徹底的に避けて実施をするということである。

【健康福祉部長】

地元の集会に通知するのに、根拠が欲しいので、文書を再度出してほしい。

【市長】

危機管理監から今日付で最新版の文書を出してください。

【総務部長】

国から、補正予算について、示されたので、各課に通知予定である。

6月補正の締め切りは原則13日だが、コロナ関係については期限を延ばす。

各課で情報収集をお願いしたい。

【副市長】

総合政策部から職員に対して、新型コロナの発症について、受診の目安について周知徹底をするように。基礎疾患があれば、より注意が必要なので、職員には相談センターに適切に相談を受けてほしい。

【議会事務局長】

市議より、児童育成クラブの職員のストレスにより、子どもへの対応に影響が出ているので、対応をお願いしたい。

【子ども未来部】

関係部で適切に対応してほしい。

【危機管理監】

消毒液はまた入荷される。掲示板で周知をしていく。

マスクも来週に入荷されるので、必要であれば申し出てください。

5 閉会

以上